

## 活動紹介

千葉県森林インストラクター会

活動分野	地域部会（南総部会）		
タイトル	清和県民の森 早春の自然観察会		
実施日時	平成29年3月11日（土）10時～14時		
実施場所	君津市 清和県民の森		
受講者	10名（こども1名）	FIC会員他スタッフ	8名

### 活動の内容 清和県民の森 三島神社周辺の里山 早春の自然観察会です

晴天ですが肌寒さも残る一日、集合したくじら島のスポーツ広場の周辺をまず散策します。驚くほど近くに来てくれたエナガたちに、かわいいねと言う声が、上がります。ホシハジロの羽根が散らかった所で、誰が犯人か推理。ウグイスの初鳴きも聞こえました。

野草では、ピンクの小さい花をつけたヒメウズは、この常連さん。春を彩るオオイヌノフグリの青い花、ミチタネツケバナの白い花も、実は外来種ですが、日本の春にしっかりとけこんでいます。今年もツクシを発見、「食べごろだね。」という声も上がります。

小さな春を探しながらの里山歩き。タチツボスミレ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、フキノトウ、ヒガンナムシグサの花など、ゆっくり歩きながら早春の花々を楽しみます。



す。三島神社の社寺林や、道の傍らの「庚申塔」の

話に興味を示す方も、里山歩きの楽しみは、人それぞれです。田んぼには、ヤマアカガエルの卵塊も。ぽかぽかおひさまの当る土手で昼食。露味噌の差し入れもあり、すっかりくつろぎました。

午後は、見事なスギの巨木が林立する三島神社にお参りしたあと、大きな三角定規でのスギの樹高測定や、大きなスギの切

株の観察。大きな杉の樹高は約53m、樹齢は360年～400年との事、三島神社の歴史の古さを実感できます。三島神社の森にある「なんじゃもんじゃ」の木は、アサダ。頼朝が「この木はなんじゃ？」と言ったとか言わないとか。アサダは、房総では珍しい木で、他には元清澄山など数か所で確認されているだけです。

アンケートでは「鳥や草花の勉強ができた。キツツキの巣などもめずらしかった。」「よく見る草の名前など教えて頂き、何げなく通りすぎる風景も、これから楽しくなります。」など。里山

歩きのいろいろな楽しみ方を見つけて頂ければ、幸いです。と思っています。

参加者のみなさま、ありがとうございました。

